

留学費用			
留学費用項目	現地通貨 (AUD \$)	日本円	備考
授業料	0	0円	交換留学のため明治大学に費用納入
宿舍費	15,000	1,500,000円	UTS Housing 6 room share 120\$/week
食費	3,000	300,000円	自炊が安いです、外食するなら安くても一色20AUD
図書費	0	0円	
学用品費	0	0円	ノートなどはIPADでとりました
携帯・インターネット費	360	36,000円	半年で180\$のsimを学校で購入。wifiは寮に備え付け
現地交通費	1,000	100,000円	公共交通機関(<input checked="" type="checkbox"/> 大学まで徒歩・自転車)
教養娯楽費	0	0円	
被服費	0	0円	
医療費	0	0円	
保険費	2,400	240,000円	形態: 明治大学保健とOSHC
渡航旅費	2,000	200,000円	
ビザ申請費	650	65,000円	
雑費	0	0円	
その他		円	
その他		円	
合計	21,710	21,710,000円	

渡航関連	
渡航経路	
往路 出発地: 羽田	目的地: シドニー 経由地:
復路 出発地: シドニー	目的地: 羽田 経由地:
渡航費用	
① 往復チケットを購入した場合 航空会社: ANA 料金: 20万	
② 片道ずつチケットを購入した場合 往路 航空会社: 料金: 復路 航空会社: 料金: ∴合計:	
航空券購入方法	
<input type="checkbox"/> 旅行代理店(店名:)	
<input checked="" type="checkbox"/> インターネット(サイト名: Skyscanner 経由で直行便での最安値)	
<input type="checkbox"/> その他()	

滞在形態関連

1)種類(留学中の滞在先)(例:アパート、大学の宿舎など)

学生寮(寮の名前:UTS Housing
) アパート ホームステイ

2)部屋の形態

個室 相部屋(同居人数 5 人)

3)共有部分

バス トイレ キッチン(自炊可 自炊不可)

4)住居を探した方法:

まずは学校のホームページ、それから学校と提携している学生寮を提供している業者をチェック。

5)感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)

シドニーの家賃が非常に高いです。安いところに住むにはかなり郊外に行くか家のレベルを相当下げるしかありません。都心からの距離と家のクオリティを担保している物件はUTS Housing一択しかありません。この寮は先着で応募が始まるので募集が始まったらメーリングリストに登録し、最新情報を逐一チェックすることを強くお勧めします。非常に素晴らしい寮でイベントも豊富で毎朝コーヒーマシンも飲めます。屋上にはテラスもあり施設もばっちりです。)

現地情報

1)留学期間中、病気やケガをしましたか。した場合、どこで治療を受けましたか。(例:現地の病院、学内の診療所)

なし
あり(治療を受けた場所:)

2)留学期間中、学内外で問題はありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。

(例:留学先大学の相談窓口、現地の友人等)

なし
あり(問題の内容や相談した人等:)

3)現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか?その際どのように対処しましたか?

外務省の旅レジに登録すると危険情報などを逐一メールで配信してくれます。留学中にイスラエルで開戦があったため反戦でもがいたるところで行われ暴動も一時起きましたが、事前のメールによって巻き込まれることなく過ごせました。

4)携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。

(例:寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェでは WIFI 接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)

寮の wifi の速度はかなり早かったです。学校も同様です。

5)現地での資金調達はどうに行いましたか?(例:現地に銀行口座を開設して日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。)

日本から持って行った現金と、wise カードを開設し、向こうの ATM からお金を引き出して利用していました。

6)現地では調達できない日本から持っていくべき物があれば教えて下さい。

洗顔クリームなどや体を洗うスポンジは限られた場所では売っていますが持って行った方が安心でしょう

7)【授業料負担型の方】授業料の支払方法、支払時期等について教えてください。(例:渡航前に自分で指定したクレジットカードで支払った、現地で開設した銀行のチェックで支払った。)

学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入)

1)留学先で取得した単位数合計	本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。
24単位	<input checked="" type="checkbox"/> これから行います単位 <input type="checkbox"/> 単位認定の申請はしません(理由:)
2)履修登録の時期・方法及び履修制限	
<input checked="" type="checkbox"/> 出発前 <input type="checkbox"/> 出発後 <input type="checkbox"/> 派遣先大学の事務室 <input type="checkbox"/> オンライン <input type="checkbox"/> メール <input type="checkbox"/> その他() <input type="checkbox"/> 履修の制限があった:	
3)以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人たちへのアドバイスも含めてお書き下さい。記入スペースが足りない場合は、A4用紙で別途作成し、添付してください。	
履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Digital Media Industries	Internet BusinessA・B
科目設置学部・研究科	Business
履修期間	Autumun Session
単位数	6
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	Tutorial+Lecture(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に150分が1回
担当教授	Suneel Jethani
授業内容	社会的、政治的、経済的な変容に焦点を当てながら、現代のメディア産業が新しいテクノロジーの導入や国境を越えたメディアの流れによってどのように形成され、再構築されてきたかを探る。
試験・課題など	中間レポート2つと期末レポート一つ・出席
感想を自由記入	チュートリアルが活発で最も印象にのこる授業のひとつです。生徒の議論んがとても活発です

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):
Accounting and Accountability		
科目設置学部・研究科	Business	
履修期間	Autumn	
単位数	6	
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)	
授業形態	Tutorial+Lecture+Workshop(チュートリアル、講義形式等)	
授業時間数	1週間に150分が1回	
担当教授	Associate Professor Amanda White	
授業内容	この科目は、学生に会計情報の利用者としての視点を提供し、多くのビジネス学生が職業上使用する会計情報の種類に焦点を当てる。 アカウンタビリティという切り口を通して、会計情報の利用者の視点を学生に提供します。	
試験・課題など	毎週のクイズ、レポート、最終試験	
感想を自由記入	アマンダホワイト先生がビジネス学部でもかなり評価されている教授で、授業も非常にわかりやすく実践的なものが多かった。会計を学びたいなら受講必須。	

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):
Introduction to Strategy		国際経営論
科目設置学部・研究科	Business	
履修期間	Autumn	
単位数	6	
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)	
授業形態	Tutorial+Lecture(チュートリアル、講義形式等)	
授業時間数	1週間に150分が1回	
担当教授	Dr Sumati Ahuja	
授業内容	この科目は、地域的、国内的、国際的なビジネス環境における戦略の策定と実行の複雑さを幅広く概観することを目的としている、この科目は、地域的、国内的、国際的なビジネス環境における戦略の策定と実行の複雑さを幅広く概観できるように設計されています。	
試験・課題など	レポートが二つ	
感想を自由記入	基本的な経営学の要素を学びました。チューターが若い人で授業に来たり来なかったりしました。	

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Fundamentals of Business Finance	Corporate FinanceA・B
科目設置学部・研究科	Business
履修期間	Spring
単位数	6
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	Tutorial+Lecture(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に180分が1回
担当教授	Associate Professor Vinay Patel
授業内容	この科目では、ファイナンスの中核となる技術的・理論的概念を紹介・発展させ、実践的な財務意思決定問題への応用を説明する。
試験・課題など	毎週のクイズと最終テストなど
感想を自由記入	コーポレートファイナンスを学びます。会計ソフトを使った講義も面白かったです。

卒業後の進路について

1) 進路 ※3年生以下の方は今後の予定を記載してください(下記 2 以降は記入不要)
<input checked="" type="checkbox"/> 就職 <input type="checkbox"/> 進学 <input type="checkbox"/> 未定 <input type="checkbox"/> その他:
2)進路決定の際に活用したウェブサイト、書籍、機関など
現在行っています
3)就職を選択した方は、差し支えなければ内定先を教えてください。また、その企業を選んだ理由も教えてください。(内定を得た企業すべての名前、あるいは入社すると決定した企業の名前のみでも構いません) ※就職活動をこれから始める場合は、差し支えなければ現時点で希望する業界、職種等を教えてください。
4)就職活動中・終了に関わらず、就職活動について感想・アドバイスをお願いします。 (例: 留学中の就職活動へ向けた準備、帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。就職活動を不安に思い、留学を断念する方もいます。ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。) ※就職活動をこれから始める場合は、留学経験を通して就職活動に対する意識や希望する就職先の変化等を教えてください。
5)進学を選択した方は、差し支えなければ進学先を教えてください。
6)進学を志す留学希望者に向けたアドバイス(準備、試験対策等)をお願いします。
7) その他を選択した方は、その進路を選択した理由と、留学希望者に向けたアドバイスをお願いします。

留学に関するタイムチャート

留学するまでの準備、試験勉強、留学中、留学後、特に留学に関連して発生した事項を記入してください。

(例: 語学試験の勉強、選考、出願、ビザ申請・取得、航空券購入、予防接種、滞在先の確保、留学中の中間試験、期末試験、その他イベント等)

留学開始年の前年	1月～3月	
	4月～7月	～英語の勉強情報収集
	8月～9月	TOEFL 取得
	10月～12月	諸々の準備
留学開始年	1月～3月	出発
	4月～7月	試験
	8月～9月	
	10月～12月	試験&帰国
留学/帰国年	1月～3月	就活開始
	4月～7月	
	8月～9月	
	10月～12月	

留学体験記

※ この留学先を選んだ理由、留学生活全般について、また、これから留学を志す後輩学生へのアドバイスなど、自由に記入してください。

この留学先を選んだ理由は英語圏で都心でオーストラリア国内という条件を満たしていたからです。多民族国家であるオーストラリアに留学して得られるものは非常に大きいと思います。皆さんこれからいろいろな条件で留学先を選択されると思いますがシドニー工科大学は設備も立地も最高級です。学生の質も高いですし、なにより最寄りのビーチまで20分程度で行けるシドニー中心部というロケーションの良さは大きいものだと思います。生活で困ることはないのご自身のやりたいことに十分注力できることと思います。そしてこれから留学へ行く人たちへ、留学では何をどれだけ多く学べたかという点よりも自分をどれだけ理解し成長することが出来たかを重視して過ごしてみることを強くお勧めしたいです。